IT時事ネタキーワード「これが気になる！」（第66回）

コロナ禍での「オンライン面接」

2020.09.14

まだまだ続きそうなコロナ禍で、転職希望の人や転職を余儀なくされる人が増えている。新卒予定者の就職も厳しいものになりそうだ。コロナによる景気低迷で、職を探すのも企業が優秀な人材を探すのも困難を極めている。

「3密」や「ソーシャルディスタンス」が叫ばれる昨今、外出や対面はなるべく避けたい。そんな中で普及しつつあるのがオンライン面接（Web面接）だ。ビデオ通話アプリや会議アプリを使って、面接をオンラインで行うものだ。テレワークが常態化し、会議も打ち合わせもオンラインで行われる中、面接もオンライン化するのは当然の流れかもしれない。

「2020年8月実施 Web面接に関する21卒学生アンケート」によれば、現在の就職活動について「ほとんどWebで行っている」「Webの方が多い」という回答が62.4%に上った。やはりこのご時世での面接は、対面を避けオンラインで行う企業の増加が数字にも表れている。総務省の今年度の採用情報の1つにも、面接（文中では「官庁訪問」）をオンラインで行う旨が書かれている。公的機関でもオンライン面接を行っている。

オンライン面接を実施する企業への印象はおおむね良好だ。安全面を考慮している、安心して勤務できそう、志望者や社員を大切にしていそう、などという声が多い。「面接に来てください」と言われるよりも「まずはオンラインで」と言われたほうが好感度は高そうだ。今は、オンライン面接の有無が、志望度を左右しかねない状況ともいえる。

オンライン面接を望む人が増加。ただし「最終面接のみ対面」を希望… 続きを読む